

# 2024年内外の選挙を振りかえり 民意と政治について考える



講師：白鷗大学名誉教授・共同通信客員論説委員・ジャーナリスト

後藤 謙次 様

## プロフィール

共同通信社客員論説委員、白鷗大学名誉教授。1949年東京生まれ。73年共同通信社入社。平河クラブ、官邸クラブキャップ、政治部長、論説副委員長、編集局長を経て2007年退社。退社後はTBSテレビ「news 23」のキャスター、テレビ朝日「報道ステーション」などのコメンテーターを務める。現在、文化放送の「後藤謙次ポイント・オブ・ビュー」は13年に及ぶ。連載コラムは週刊ダイヤモンド「永田町ライブ!」の他、新潟日報、静岡新聞、北國新聞、徳島新聞の各紙。著書に『竹下政権・五七六日』(行研)、『10代に語る平成史』(岩波ジュニア新書)、『ドキュメント平成政治史』全5巻(岩波書店)など。日本政治法律学会報道学会賞(2023年度)を受賞。日本記者クラブ賞(2024年度)を受賞。第72回菊池寛賞を受賞。

2024年は選挙イヤーでした。台湾総統選、ロシア大統領選、韓国総選挙、インド総選挙、さらにインドネシア・メキシコの大統領選、そして日本の総選挙、アメリカ大統領選と各国での民意が示されました。政治形態が異なる事に加え選挙制度が違うので一概に比較する事は困難ですが、各国の社会・経済状況を知り投票率を見るという事は政治参加・民意という観点からも重要であると考えます。

さて、直近に行われた我が国の総選挙は前回から2.08ポイント下回る53.85%と戦後3番目という低投票率の下、2009年民主党政権誕生時以来の民意による与党の過半数割れが生じました。その民意を如何に受け止めるのか?政治は民意に飲まれるのか?アメリカではトランプ大統領の返り咲きですが、投票率は我が国と違い65%と高水準でした。我が国との外交・経済の在り方等、大いに感心があることと思います。

講師の後藤謙次様は長くジャーナリストとして我が国の政治や国際政治を取材されその論評は高く評価されています。年末ご多忙中と存じますが、今年を振り返り来年を迎えるにあたり皆様の指針に繋がる講演会になると思います。ご参加をお待ちしています。

**日時** 2024年 12月17日(火) 午後6時開場 / 午後6時30分講演開始～午後8時終了

**会場** 神奈川県立かながわ労働プラザ  
(横浜市中区寿町1-4 ☎ 045-633-5413)  
JR石川町駅中華街口(北口) 徒歩3分・地下鉄関内駅徒歩6分

**会費** 1,000円(資料代) 学生無料

主催：一般社団法人勁草塾(代表理事 齋藤 勁)

後援：神奈川新聞社、東京新聞横浜支局、タウンニュース社(順不同)

協力：(公財)日本ジャーナリスト協会

\*参加お申込みの方は下記迄Eメール又はFAXでお願いします。(先着100名様で締め切らせていただきます。)

一般社団法人 勁草塾横浜事務局 e-mail : t-saitou.jimusho@zd.wakwak.com FAX 045-315-7540

勁草塾講演会(2024年12月17日)

出席( 名 ) ・ 欠席

お名前

連絡先